

特別展 変わりゆく品川の風景

期間	令和3年10月9日(土)～12月5日(日) 50日間				
会場	第二展示室・ロビー・小講堂				
有料観覧者	一般 1,794	小中 101	一般団体 61	小中団体 0	有料計 1,956
無料観覧者	区関係 240	区内小中 883	招待 462	高齢者 1,136	無料計 2,721
					総計 4,677

【開催趣旨】

昭和54年(1979)の八潮誕生により、品川区は、品川・大崎・大井・荏原・八潮の5地区で構成されることになった。当館が所蔵する江戸時代から明治時代の浮世絵や、大正・昭和時代のスケッチと近代版画といった絵画資料、そして震災や戦災、急激に移り変わるまちの風景を写した写真や絵葉書は、各地域の歴史をいまに伝えている。

本展では、江戸から昭和にかけての品川の風景を紹介した。

【展示概要】

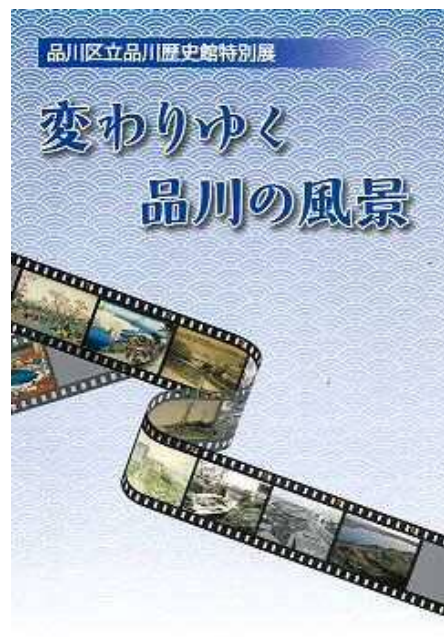
プロローグ 品川のいま～空から見た風景～

第1章 江戸と東京の名所・品川

第2章 スケッチ、近代版画と絵葉書で紡ぐ品川の風景

第3章 写真が記録した品川の発展

エピローグ いま、歴史を残す～吉田秀雄記念館から品川歴史館へ～



【記念イベント】

イベント名	日時	講師	会場	参加人数
学芸員による展示解説	①10月16日(土) 「江戸と東京の名所・品川」	富川 武史 (品川歴史館学芸員)	講堂	①31名 ②30名 ③42名 延べ103名
	②11月13日(土) 「関東大震災前後の品川」			
	③12月5日(日) 「写真が記録した品川の発展」 時間はいずれも14:00～15:00			